

**製品名: CD68 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21577**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:35kD;Observed MW:120kD

**抗原情報**

遺伝子名	CD68
別名	CD68
遺伝子 ID	968.0
SwissProt ID	P34810
免疫原	ヒト CD68 の合成ペプチド

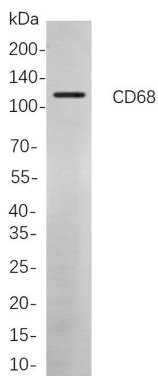
**背景**

細胞局在: 膜性。この遺伝子は、ヒト単球および組織マクロファージで高発現する 110kD の膜貫通型糖タンパク質をコードしてい

る。リソソーム/エンドソーム関連膜糖タンパク質 (LAMP) ファミリーに属する。このタンパク質は主にリソソームおよびエンドソームに局在し、少量が細胞表面に循環している。高度にグリコシル化された細胞外ドメインを持つ I 型膜タンパク質であり、組織および臓器特異的なレクチンまたはセレクチンに結合する。また、このタンパク質はスカベンジャー受容体ファミリーに属する。スカベンジャー受容体は、典型的には細胞残骸の除去、貪食の促進、マクロファージのリクルートおよび活性化を媒介する機能を持つ。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物が生じる。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

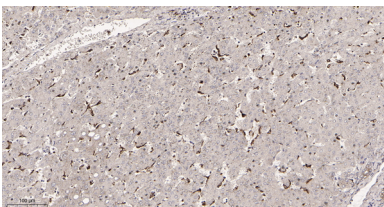
## 研究分野

## 画像データ



U-87MG 細胞のライセートのウェスタンブロット解析

CD68 ウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト肝組織の免疫組織化学分析。1、CD68 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分) 3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。